



新しい年が始まりました。皆さんは、気持ちを新たによいスタートがきれましたか？ 今年もさまざまなことに挑戦して、楽しい一年にしましょう。そして、「素敵な本との出会い」もありますように！

1月29日 南極に昭和基地が開設される

1957(昭和32)年のこの日、日本の第一次南極観測隊が南極のオングル島に上陸し、昭和基地を開設しました。この時、一緒に15頭のカラフト犬も連れてきましたが、翌年の引き上げの時にやむなく置き去りにされ、1959(昭和34)年の1月14日、第三次南極越冬隊が生き延びていたタロとジロの2頭と奇跡の再会をしました。



📖『南極点へ5200キロ 昭和基地の越冬生活と極点制服』 村山雅美：著

偕成社

第九次南極観測隊の隊長だった著者が、『宗谷』に代わる新しい砕氷船『ふじ』で南極点を目指す極点旅行を成し遂げるまでを描いたドキュメンタリー作品。解説文では、「南極条約」についても書かれています。

📖『タロとジロ 南極で生きぬいた犬』 東 多江子：著 佐藤やゑ子：絵 岩合光昭：写真

講談社

第一次観測隊と南極へ渡った15頭のカラフト犬。南極へ一緒に行くことになった理由やそのための訓練、現地での働きぶりを描いた作品。最後のタロとジロとの再会のシーンは、心に響きます。

📖『南極ダイアリー』 水口博也：著

講談社

写真家でジャーナリストの著者が、南極やその周辺の島々を数年にわたり何度も訪問し、ペンギンを中心にそこで生きる動物たちの生態を観察した記録です。温暖化による氷の状況の変化、さらには食物連鎖への影響についても書かれています。地球の極地でも、気候変動の影響を大きく受けていることがわかります。



14. 海の豊かさを守ろう



一持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する一



15. 陸の豊かさを守ろう

一陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する一

海洋汚染の防止、海洋及び沿岸の生態系の回復、海洋酸性化への対処、水産資源の科学的管理の計画・実施、過剰漁獲につながる漁業補助金の撤廃、海洋・海洋資源の保全、持続可能な利用を強化する。

あらゆる生態系の保全・回復、森林減少の阻止、劣化回復のための植林を推進。絶滅危惧種の保護、遺伝資源活用法の改善、密漁や違法取引の撲滅、外来種の侵入防止、生態系や森林経営のための資金強化と支援。

『ヤマネコとアザラシちょうさだん』

五十嵐美和子：作・絵

PHP 研究所

ゴミを間違えて食べてしまったアザラシたちは、調査団を作って世界を回り、海をきれいにする機械「ウミキレイ」を考案します。完成には人の協力が必要不可欠ですが、思わぬ助っ人が登場します。

『ナケノのいる森で』

双葉・ボリパ・ル・リ・リ・リ・しかけ

アノ・マス・グ・オ

動物たちが住む生き生きとした森に、突然ショベルカーが現れ、森を壊し、白い土地に変えてしまいます。そこへひとりの人がやってきて、あることをします。自然破壊も再生もできる私達がやるべきこととは？

この本、読んでみませんか？ (司書 唐津のおすすめ)

『虹いろ図書館のへびおとこ』 櫻井とりお：著

河出書房新社



ささいなことではじめにあい、学校に行けなくなった小6のほのか。親にも話せず居場所のない彼女がたどり着いたのは、古い図書館でした。平日の昼間に図書館に来ていても何も聞かない司書のイヌガミさんをはじめ、そこに通うさまざまな人や本との出会いによって成長していくほのかの姿に、心が温まります。